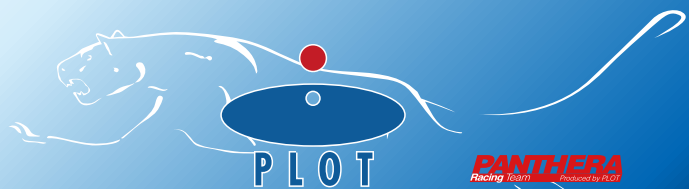


PLOT FARO PANTHERA

Round.5 / SUZUKA

ST600 #8



9/6-SAT ドライ

予選レポート

SUGOの我慢を鈴鹿で爆発させたい寺本。1回目の予選は若干ウェットパッチの残る微妙な路面で開始された。もちろんタイヤはドライ。コースを確認しウィーク初めてのドライコンディションにマシンセットを確かめながらアタックを開始する。周りがタイムアップする中、うまくまとめることが出来ず終了。

Aグループ1回目 タイム：2'18.542 8番手

車体のセットを変更し望んだ2回目。1回目と同じく納得の走りが出来ない。タイムが上がらない。再びセットを変え、NEWタイヤで最後のアタックに飛び出していく。3周目には今日のベスト2分18秒3を出し、さらにアタック。ラスト一周にすべてをかける。しかしタイムアップならず、自己ベストに遠く及ばず2回目の予選も終了した。



Aグループ2回目 タイム：2'18.302 8番手
予選総合18番手

決勝レポート

9/7-SUN ドライ



今シーズンワーストの18番グリッドからのスタートに『とにかく追い上げる』昨夜練りに練った作戦とセットで決勝に臨む。シグナルが消え寺本のロケットスタート。前列を追い越すスタートを決め、オープニングラップは14位でホームストレートへ戻ってくる。続く2周目ゼッケン10番 稲垣をかわし13位。さらに前を追い上げている5周目、上位陣に波乱。

3番手争いをしていたゼッケン55番 國川がデグナーカーブ2個目で転倒。トップを走るゼッケン4番 野田が最終コーナーでハイサイド転倒。9番手走行のゼッケン43番 生形がエンジントラブル。さらに6周目、ディフェンディングチャンピオン小西が逆バンクで転倒。寺

本は一気に9番手までポジションアップ。さらに7周目8位、8周目7位と確実にポジションを上げていった10周目、トップ争いをするゼッケン73番 小林がデグナーカーブの進入でコースアウト。転倒を免れコースに復帰する時、4~8位争いをダンゴにするタイミングでコースイン。7位の寺本に残り2周で、さらに上が狙えるチャンスがやってきた。11周目、6位を走るゼッケン18番 高橋をパス、そして6位で迎えたラストラップ。目の前は5位を走るゼッケン72番 宮崎。今シーズンワーストの6列目18番グリッドからスタートした寺本は、見る者を熱くする追い上げで、今シーズンベストとなる5位入賞でフィニッシュラインを通過した。

ST600 決勝 5位

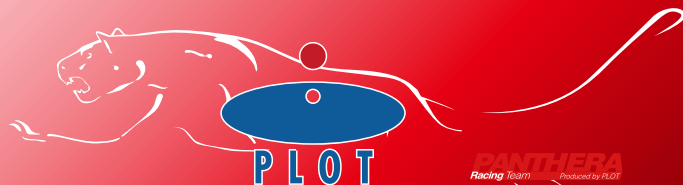
寺本コメント

序盤は慎重に追い上げ、周りが疲れてミスを犯すタイミングはガマン。最後まで冷静に追い上げのレースができました。しかしマシンを仕上げるまでの時間が足りないレースが続いているので、決勝までにセットを合わせ切れなかったのが課題です。次の最終戦岡山国際はうまく走れるタイプのコースなので、久しぶりの表彰台、そして初優勝を狙います。

PLOT FARO PANTHERA

Round.5 / SUZUKA

JSB1000 #15

PANTHERA
Racing Team
Produced by PLOT

9/6-SAT ドライ

予選レポート

2レース制で行なわれる今回の鈴鹿。2レースのスターティンググリッドが決まる重要な予選。昨夜の雨でぬれた路面も完全に乾き、ドライコンディションでのアタックとなるが、前日のフリー走行がウェットコンディションだったため、完璧なセットが出ていない。しかし、3周目には自身のベストタイムに並ぶ2分11秒1を出し、好調をアピール。何度かセットを変更しアタックを続けるがタイムアップならず1回目の予選を終える。

Aグループ1回目 2'11.157 7番手

予選2回目。1回目に続きセットを変更、確認しながらアタックを開始する。残り10分でピットイン。NEWタイヤに履き替え、ここまで煮詰めてきたセットで最後のアタックに向けコースイン。タイヤを暖め、クリアを取る。残り2分、ラスト1周の全開アタック。自身のベストタイムをコンマ8秒縮める、初の10秒台で予選を終えた。

Aグループ2回目 2'10.310 7番手
予選総合 13番手

決勝レポート

9/7-SUN ドライ

◆レース1

自身初となる10秒台で決めた13番グリッド。トップ10を狙える位置だけにスタートに気合が入る。レッドシグナルが消え各車一斉にスタート。今野的には悪くないスタートであったが、ロケットスタートを決めたゼッケン51番 武石、ゼッケン13番 波多野に抜かれ、1周目を15番手で終える。順位が頻繁に入れ替わるダンゴ状態。2周目14位、3週目13位と、ひとつひとつ確実に順位を上げていく。そして4周目には10秒台に突入。武石をかわし12位へ、しかし後方からゼッケン5番 亀谷が追い上げてくる。逃げる今野、しかしなかなかタイムが上がらない。6周目には亀谷にかわされ13位へポジションを落とすものの、7周目には逃がっている間に追いついたゼッケン62番 横江選手をかわし再び12位。その後横江を引き離し、前を行く亀谷を追い続けるもののジリジリと離されていく。10周目を過ぎた頃には単独走行となり、このままフィニッシュかと思われた13周目、ゼッケン19番 山口が転倒。ポジションを1つ上げ、11位でチェッカーとなった。



PLOT FARO PANTHERA

◆レース2

レース1で11位と、トップ10まであと1つという結果に気合の入るレース2。レース1と同じく13番グリッドから好スタートを決め、順位を落とすことなく13位で1周目を終え、前に行くゼッケン26番 辻村、5番 亀谷、62番 横江の追撃を開始するが、なかなかタイムが上がらない今野は徐々に引き離されていく。しかし3週目、11位を走行していた辻村がマシントラブルでピットイン。ポジションを1つ上げ12位へ。

しかし、うまくリズムがつかめず、11秒台後半から12秒台前半のタイムで周回を重ね、我慢の走りをする今野に、後方から11秒台真ん中あたりで走行するゼッケン54番 森脇がジリジリと迫ってくる。最後の力を振り絞り、再度11秒台にタイムアップするが、最終ラップにかわされ13位でフィニッシュ。



今野コメント

鈴鹿は8耐で走りこんだので、マシンの状態もよく、予選では自己ベストを1秒近く更新できたのですが、自分がレベルアップした分、周りもレベルアップしていて、両レースとも同じような結果で終わってしまった。周りと同じだけのレベルアップでは、順位が変わらないので、ここからもうひとつレベルアップして、早くトップグループでレースがしたいです。

JSB1000 決勝 レース1 / 11位 レース2 / 13位

SPECIAL THANKS

